

令和3年度 大分県災害ボランティアセンター 第1回運営リーダー研修会
「災害時に必要な資機材について学ぼう！」

開催要綱

1 目的

近年、自然災害は規模や頻度を増して発生しており、昨年は大分県内でも大きな被害が発生しました。昨年も日田市、九重町、由布市、大分市で災害ボランティアセンター（以下、災ボラ）が立ち上げられ、被災された方の生活復旧・復興に力を注いできました。

発災時に迅速な対応を行うためには、平時からの備えが重要です。今回の研修では、災ボラで使用する資機材の確保に焦点を置き、平時の備えとしてどの程度備蓄しておく必要があるのか、種類や使用用途、数量等など、住宅模型や実際の資機材も使いながら学び、発災時に向けた備えとしての知識習得を目的としています。

また、参加者同士の情報共有を通じ、発災時の近隣市町村間での連携や資機材の貸し借り等について考える機会とします。

- 2 開催日時 令和3年7月1日（木） 10:00～15:00
- 3 開催場所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
（大分市大津町2-1-41）
- 4 主催 社会福祉法人大分県社会福祉協議会
- 5 対象者 下記のいずれかに該当する行政職員および社会福祉協議会の役員及び職員
・災害担当者（災害ボランティアセンターに関する業務）
・過去の受講者
・その他役職員等（所属長が認める者）
※別添研修体系図を参考にご検討ください。
- 6 定員 30名～50名
- 7 参加費 無料
- 8 参加申込 参加希望の方は、別紙参加申込書に必要事項を記入の上、6月25日（金）までに下記事務局あてにFAXもしくはメールにてお送りください。

9 プログラム

時 間	内 容
9 : 2 0 ~	受付開始
9 : 5 0 ~	開会・オリエンテーション
1 0 : 0 0 ～1 1 : 3 0	【 基調講演 】 「平時からできる災害への備え（仮題）」 講師：佐賀県大町町地域おこし協力隊 公門 寛稀 氏
1 1 : 3 0 ～1 2 : 3 0	昼食休憩
1 2 : 3 0 ～1 4 : 4 5	【 ワークショップ 】 「住宅の構造と資機材の使い方 ～ニーズに応じた見立てと備えについて学ぶ～（仮題）」 講師：NPO 法人リエラ 代表 松永 鎌矢 氏 ・床下模型を使って、ニーズに応じた資機材の見立てを学ぶ。 ・床下の構造を知ること、作業に必要な資機材について学ぶ。 ・学びを活かして、自身の市町村における備蓄状況等を振り返り、情報共有 を行い、近隣市町村間の連携を深める。 ※ワークの内容について、多少変更になる場合もあります。
1 4 : 4 5 ～1 5 : 0 0	まとめ・閉会・事務連絡

★講師紹介



公門 寛稀（くもん ひろき）氏

佐賀県佐賀市で育ち、高校卒業後は愛知県の自動車部品メーカーでエンジニアとして6年勤め、中国への出向を機に海外への関心が強まる。退職後、地球一周の船旅に参加し、23カ国へ訪問。帰国後に熊本地震の災害ボランティア活動に参加。以降災害支援専門NPO職員として約4年間で6箇所の被災地支援に携わる。現在は佐賀県大町町地域おこし協力隊の災害支援担当。

松永 鎌矢（まつなが けんや）氏

元日田市ひちくボランティアセンタースタッフ／元NPO法人レスキューストックヤード（名古屋市）事務局次長

中津市出身。大分大学在学中に東日本大震災後、1年間休学して宮城県でボランティア活動に携わった。平成30年7月豪雨災害では、愛媛県宇和島市を支援。その他、全国各地の被災地で災害支援活動を実施している。現在はNPO法人リエラの代表理事を務めており、災害支援や移住者支援等を行っている。



10 その他

- (1) 本研修会参加者の氏名、住所、所属機関名等を掲載した名簿を作成し、本会でこれを管理します。
- (2) 昼食（お弁当：500円※お茶なし）をご希望の方は、別紙参加申込書の所定の欄に○印をつけてお申し込みください。当日、受付横にて釣銭の要らないようお支払いください。※飲み物は各自でご準備下さい。
- (3) 新型コロナウイルス（COVID-19）感染症拡大の影響により、やむを得ず研修会の開催を延期する場合がございますので、予めご了承ください。
- (4) 駐車場に限りがございますので、なるべく乗り合わせでお越しくださいますようお願いいたします。

11 問い合わせ・申込先

社会福祉法人大分県社会福祉協議会 市民活動支援部 担当：森・藤田

〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号

TEL：097-558-3373 FAX：097-558-1296

MAIL：m_mori@oitakensyakyo.jp